

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年1月18日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年1月7日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ネバダ大学リノ校(日本語名) University of Nevada, Reno(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8月下旬～12月下旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	20194
創立年	1874

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	4498	674700円	
食費	2439	365850円	
図書費	0	0円	
学用品費	100	15000円	
携帯・インターネット費	0	0円	
現地交通費	0	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	2000	300000円	
被服費	100	15000円	
医療費	0	0円	
保険費	0	0円	形態:
渡航旅費	2000	300000円	
ビザ申請費	266	39900円	
雑費	100	15000円	
その他		円	
その他		円	
合計	9403	1410450円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田 目的地:リノ 経由地:シアトル

復路 出発地:ロサンゼルス 目的地:羽田 経由地:直行便

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:デルタ 料金:25万

復路 航空会社:アメリカン 料金:6万 ∴合計:31万

航空券購入方法

旅行代理店(店名:)

インターネット(サイト名:expedia)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前:) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数2)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

インターネットでネバダの寮について調べ、housing portal から申し込み

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ネバダ大学にはたくさんの寮がありますが、一番いいのは LLC だと言われています。私もそこに住んでいましたが、他の寮の人は寮について不満がたくさんあるようでしたが、LLC はとても良かったです。しかし値段は少し他と比べると高いです。逆に友達が良くないと言っていた寮は Sierra hall と Nye hall です。特に Nye hall は本当に最悪らしいのでお勧めはしません。また、寮以外の選択肢もあり、私の友達はキャンパスの近くのアパートに住んでいました。DEAN という建物と、HERE RENO という建物です。そこなら共有スペースはあるものの、部屋を一人でつかえるので、ルームメイト無理という方はおすすめです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

基本キャンパス内は安全なのですが、近くにカジノ街があるダウタウンがあり、そこはホームレスの人がたくさんいたり危ないので、夜に一人でそこには行かないようにしていました。また犯罪に巻き込まれたことはないです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは問題なく使えました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金を10万円ほど持って行ったのと、クレジットカードを2枚持っていきました。また、クレジットカードが謎に使えないときがあるので、現金も持っていくことをお勧めします。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前にオンラインでクレジットカードで支払い

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input checked="" type="checkbox"/> 8単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English reading and writing	英語 リーディングとライティング
科目設置学部・研究科	English
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Amy
授業内容	テキストに沿ってどのようにエッセイを書くのか学ぶ
試験・課題等	課題は週にもよりますが、小テスト、エッセイ、が主な課題でした。毎回課題はありますが授業自体の難易度が高くないので易しいです。中間テストは筆記でありましたが期末テストはなかったです。
感想を自由記入	留学生専用の授業なので、そこでいろんな留学生と交流ができた。また、Amy はコミュニケーションを取ることや、生徒同士のつながりを重視している方なので、とてもアットホームな授業で楽しかったです。また、レベル的には結構易しめでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English speaking and listening	英語 スピーキングとリスニング
科目設置学部・研究科	English
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Amy
授業内容	プレゼンテーションや講義動画のリスニング、語彙を学ぶ
試験・課題等	週によるが、リスニングをしたうえでメモを提出したり、自分で発表の動画を取って提出することが多かったです。
感想を自由記入	English reading and writingと同じく、Amyが教授だったので、とてもアットホームだったし、留学生同士の交流を深めるための工夫がされていて、グループワークがとても多かった。難易度的には易しいです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intersectional analysis identity	交差的アイデンティティの分析
科目設置学部・研究科	GRI
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Patrick Jackson
授業内容	差別とはなぜ生まれるのか、また、人種の違いや性的多様性、や文化の違いはどのようにこの社会に影響を及ぼしているのかについて。また、社会的正義とは何か、や、社会的正義を実行するためにはどのように社会的不平等にアプローチすればいいのかについて学ぶ
試験・課題等	毎回テキストを読む課題があり、たまに reflection paper という、授業内で見た動画についてどう思うかを書くエッセイの課題がありました。筆記の中間テスト、期末テスト、最終レポートがありました。筆記は、選択問題50点と論述問題50点ずつでした。
感想を自由記入	日本には主に日本人しかいなく、単一的な国家ですが、いろんな背景を持つ人々がまじりあうアメリカにおける社会について学ぶことができとても興味深かった。内容的にも一般教養みたいなのもあるし、テストでは論述もありますが明確な正解がないのがGRIなので、授業の内容をしっかりと押さえていればあまり難しくはなかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
introduction to media and society	メディアと社会
科目設置学部・研究科	journalism
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Felts
授業内容	メディアが社会にどのような影響をもたらすのかや、メディアの仕組みについて学ぶ
試験・課題等	毎回テキストを読む課題があり、また、4回 observation analysisというエッセイを書きました。オンラインでテストがあり、資料を見ながらの受験がおっけいだったので楽でした。最後にグループプロジェクトがあり、グループで一つ動画を作成します。
感想を自由記入	先生がとても面白い方で、エンターテイメントとジョークにあふれた、アメリカっぽいという授業でした。とても楽しかったですが、最後のグループプロジェクトはネイティブの人に交じって議論などをしなければいけなかったのが大変でした。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	選考結果が出る
留学開始年	1月～3月	留学準備
	4月～7月	留学準備
	8月～9月	出発、留学開始
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	授業終わり

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

もともとこの大学は第一志望ではありませんでしたが、本当にここに行けてよかったなと思います。まず第一にこの大学には世界各国からの留学生がいるので、留学生への対応がしっかりしています。まず、international student 用のオリエンテーションや、交流会などがあり、そこで友達を作れますし、授業に関しても、留学生専用の英語の授業があります。(とっているのはだいたい日本、韓国、中国のアジア圏からの international students のみ)。また、international house という、留学生のホストファミリーをしている方がいらっしゃり、その方々は留学生のために Sunday dinner, Saturday dinner を開いてくれたり、いろんな観光地に連れて行ってってくれたりします。あと良くも悪くも日本人がとても多いです。留学生も正規生の日本人もたくさんいます。なので四六時中、日本人コミュニティで固まってる人もいたのも現状です。日本人の友達の友達と知り合い、交友関係が広がることも本当にあるし、お互い留学生という立場でつらいときに助けられる関係は大事なので日本人を避けるべきだとは全く思いませんが、ずっと日本人のコミュニティにしかいないのも留学の意義が薄れると思うので、来る前に自分でどうありたいのか、考えてくることをお勧めします。

また、conversation partner という制度があり、留学生がネイティブで英語を話す学生とペアになって英語を教えてもらおうというものです。英語を学ぶいい機会なので利用することをお勧めします。

あと、ほかの大学がどうかはわかりませんが、この大学はイベントごとがとて多いです。絵を描くイベントや、フリーボードをもらえるイベント、花火を見れるイベントなどなど。どれもとても楽しく、確実に日本の大学では体験できないのでぜひ参加してみてください！

リノは程よく田舎なので、自然も多く、とても暮らしやすかったです。とても乾燥はしていますが、大体夏は毎日カラッとしたり快晴なので気分も明るくなります。私は1セメスターだけだったので体験はしてませんが、冬はとて雪が降らしく、大雪のせいで授業が休校になるほどらしいです。また、朝、夜と昼の寒暖差がほんとに大きいので、夏でも朝は肌寒かったりします。なので羽織るものを持っていくことをお勧めします。

私にとって、この留学は初めての海外だったため、来る前は本当に本当に不安でしたし、留学前のオリエンテーションでカルチャーショックはつらいみたいな話をたくさん聞き、自分が乗り越えられるか心配で過剰に不安になっていて、行く前とても病んでいて、サークルの友達にも留学行くメンバーの中で一番お前が心配と言われてました(笑)。

そしてアメリカについて初めの1週間は時差ボケで夜全く寝れないし、学校が始まってないので友達もできず、さみしさで毎晩泣いてました。(この一週間で留学期間で一番つらかったです。)でも学校が本格的に始まってから、いろんな友達ができ、夜泣きはなくなりました(笑)。そしてアメリカの生活になじんできて、徐々に日本に帰りたくないと思うようになったほど留学生活が楽しかったです。帰国した今でも留学生活が恋しいほどです。そして帰国後、サークルの友達には、一番行く前心配だったけどめっちゃくちゃ楽しんでたじゃんと言われました。この経験から言えることは、過剰に心配になる必要はないということです。いろんな人から留学は大変、とかつらい、とか聞くとと思いますが、基本何でもどうにかかります！一番大事なのは固くなり過ぎず、まじめになり過ぎず、留学楽しむぞって思うマインドだと思います。これは日本だろうがアメリカだろうが世界共通だと思いますが、友達を作るにも、まず自分が楽しそうじゃないと周りに人は寄ってこないんじゃないかと思えます。なのでまず大事なのは楽しむことです！日本だと少し難しいことだと思いますが、アメリカはみんな陽気で、楽しい人がたくさんいて、いろんな経験をして楽しみたいって人にはもってこいの環境です。危なくない程度にパーティーやイベントなどに参加して、楽しいアメリカ文化を感じてください！あと、英語の心配についてアドバイスをしておくと、大事なのは自分は英語母国語じゃないんだから話せなくて当たり前じゃんというマインドです。アメリカに行く経験すると思いますが、自分の想像以上にネイティブの英語を聞き取ることは難しいし、自分が思っている以上に自分の英語は伝わりません。でもそれが当たり前なのです。普段私たちは日本語を話しているのですから。なので全然聞き取れない、、、とか自分の発音悪すぎる、と思うこともあると思うし私もありましたが、母国語が英語じゃないのにそんなすぐにネイティブと同じように英語ができるようになるわけがないので、落ち込んだり、焦る必要はありません。逆に英語が嫌いになるだけだし精神衛生が悪くなると思うので、完璧じゃないことも当たり前だから今自分にできることをやろう。とってください。

留学は不安なことばかりだと思いますが、先ほども述べたように、基本何とかできます。つらくて毎晩泣こうがホームシックになろうがいつかは乗り越えられます。ビザの問題でカナダ旅行からアメリカに帰れなくなったことやバスが来ないせいで寮に一晚帰れなくなったことや乗るはずだったフライトをのがしたこともありましたが何とかできました(笑)。

私にとってこの留学は自分について、日本について、将来について、考え直すとてもとても貴重な経験になりましたし、この経験を通して強くなったなと思います。今留学に行くか迷っている人がいるのなら、絶対に行くことをお勧めします。最後にこれから留学に行く皆さん、楽しんでくださいね！！楽しいことばかりじゃないかもしれませんがすべてはどうにかかりますから！